

7月6日（月）は、「いじめを考える日」です。

いじめ STOP 見逃し 0（ゼロ）

例年は、毎年五月の下旬に設定されるのですが、今年度は臨時休業期間であったため、六月二十九日（月）から七月十日（金）の期間に各校で設定することとなりました。住吉第一中学校は、七月六日（月）としました。

この「いじめを考える日」ですが、平成二八年度に開催された「大阪府子ども市会」において、当時六年生の児童（昨年度中学三年生）の意見を受け、大阪市長の提案で平成二九年度より設定されたものです。大阪市の全ての学校で、児童生徒が「いじめをなくすこと」を考える日となっています。

昨年度、提案をした生徒が卒業の年度を迎えることもあり、「大阪市いじめを考える中学生フォーラム」を開催することとしました。まずは、市内各ブロック（旧七ブロック）で実施。今年度から住之江区は第三教育ブロックです。）の生徒会交流会でいじめをなくすためのスローガンを決定しました。住吉第一中学校が所属している第七ブロックのスローガンは「**氣付かないふりしてた 傷付かないふりしてた**」でした。

昨年の十二月八日（日）、全市中学校の生徒会代表が阿倍野区民ホールに集まり、「大阪市いじめを考える中学生フォーラム」が開催されました。住吉第一中学校からも二名の生徒代表が参加してくれました。

各ブロックの生徒会交流会の取り組みとブロックのスローガンを発表する代表校、生徒会がいじめをなくす取り組みを行っているモデル校が発表を行いました。その後、代表校とモデル校の生徒の提案で大阪市の中学生のスローガンが提案され、その日に参加した全市中学校の生徒会代表で決議されたのが、**「いじめSTOP 見逃し0（ゼロ）」**です。

フォーラムのまとめでは代表生徒が「いじめについて考えていく取り組みをさまざまな中学校で実現していけば、将来大阪ではいじめがなくなる中学校が増えていくと思う。それに向けて皆さん一緒に活動していこう」と呼びかけました。「いじめに苦しむ人を助けるためには皆さんの力が必要で、**全市中学校生徒会の力を一つにして取り組んでいこう**」という司会者の力強い言葉でフォーラムは終了しました。

ですから、このスローガンは、大阪市の全ての中学生のものです。このスローガンのもとで、「いじめを考える日」をきっかけに一人ひとりがいじめのない安心できる学校にしていってください。



6月26日（金）から大阪府役所の玄関ホールに「大阪市いじめを考える中学生フォーラム」で決議された全市スローガンの横断幕が掲げられています。多くの市民の方々に大阪市の中学生の気持ちを知っていただき、大人と子どもが共に考えていきたいですね。